



電気蓄熱暖房器

「暖吉くん」
ELDシリーズ ファンタイプ
(ELD-2000～7000)

取扱説明書

- ★この度は、「暖吉くん」ELDシリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- ★お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- ★お読みになった後は、大切に保管してください。



株式会社 **ホクエイ**

本社／〒007-0882 札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号
ホームページ <http://dankichi-kun.com>
お問い合わせ 北海道、東北、関東 ☎0120-881-935
上記以外 ☎0120-494-115

目 次

【1】はじめに～取扱上のご注意～	1
【2】「暖吉くん」の仕組みと特長	3
【3】各部の名称	4
3-1 本体	
3-2 操作部の名称と働き	
【4】基本的な使い方	5
4-1 暖房器を使い始めるとき	
4-2 一般的な使い方	
4-3 一週間程度留守にする場合	
4-4 暖房シーズンの終わりに	
【5】操作方法	6
5-1 日常的な使い方	
(1) 蓄熱運転（蓄熱量の設定）	
(2) セーブモード運転	
(3) 暖房運転	
5-2 蓄熱・暖房運転の停止	
【6】エラー表示が出たら	9
【7】故障かな？と思ったら	10
【8】その他	11
8-1 お手入れ	
8-2 定期点検について	
8-3 アフターサービスについて	
8-4 地震があった場合	
【9】標準仕様	12
【10】保証書	13

1 はじめに ～取扱上のご注意～

絵表示について この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険**

 **警告**

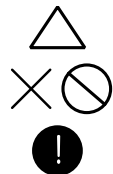
 **注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫度が高い内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

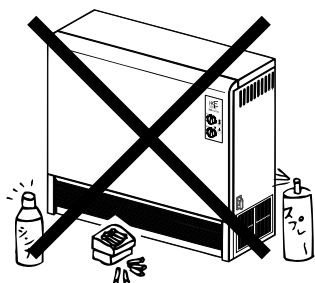


記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

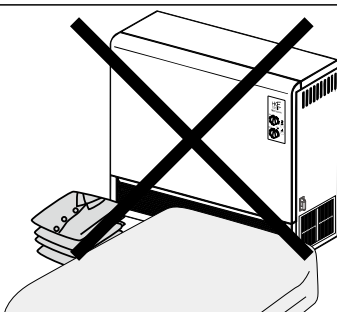
イラスト内の×記号と説明文前の○記号は禁止行為であることを告げるものです。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

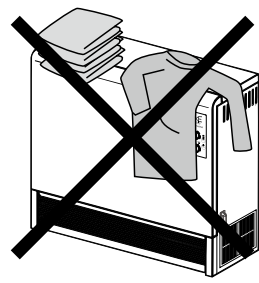
危険



暖房器の周辺にスプレー缶や可燃物を置かないこと。
(火災の原因となります。)

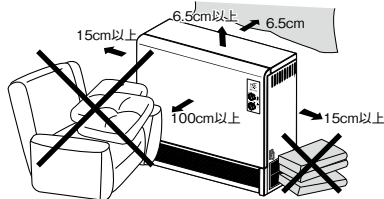


温風吹出口に物を置いて塞いだり、燃えやすいものを置かないこと。
(火災の原因となります。)

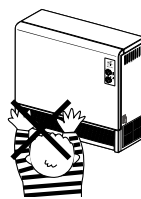


暖房器の上に衣類やふとん等の燃えやすいものを置かないこと。
(火災の原因となります。)

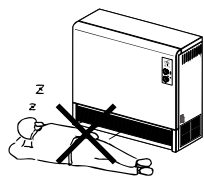
警告



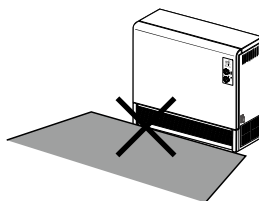
左記の離隔距離を守ること。
(火災の原因となります。)



暖房中は操作部以外には触れないこと。
また乳幼児を暖房器に近づけさせないこと。
(操作部以外は高温になるためやけどの原因となります。)



温風吹出口のすぐ前で寝込まないこと。
(低温やけどや脱水症状を引き起こす恐れがあります。)



じゅうたんは吹出口から10cm以上はなすこと。
(火災の原因となります。)

① 乳幼児や自分で温度調節できない方には、付き添いなしで使用させないこと。

② 衣類の乾燥など暖房以外の用途には使用しないこと。

③ 外装パネルは絶対に外さないこと。(内部に触ると、感電・やけどの恐れがあります。)

④ 分解したり修理・改造は絶対しないこと。

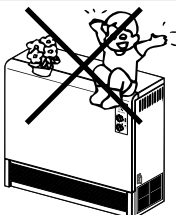
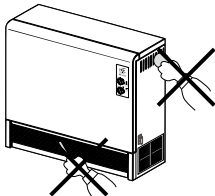
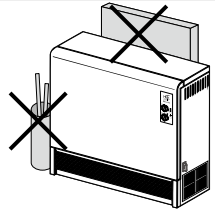
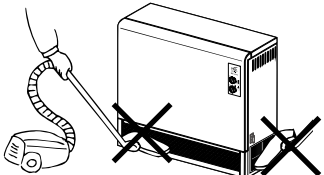
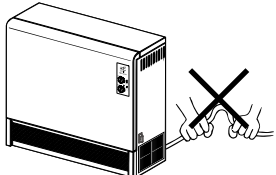
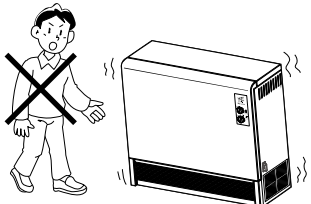
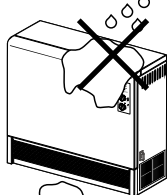
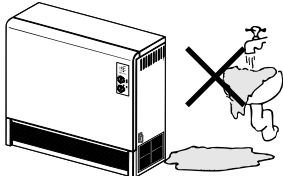
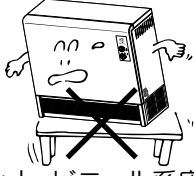
(発火、感電、やけどの原因となります。暖房器の内部は約650℃の高温になり非常に危険です。修理は販売店または当社へご相談ください。)

⑤ 異常がある場合は、必ずブレーカーを「OFF」にすること。

⑥ 地震がおき、万が一、暖房器が転倒した場合、転倒時電源遮断スイッチにより電源が遮断されますが、念のため本体には触れずにブレーカーを「OFF」にしてください。

(100V 200Vともにブレーカーを「OFF」にする。一部の暖房器の100Vはコンセントから抜く。)また、すみやかに販売店または工事店に連絡してください。

⚠ 注意

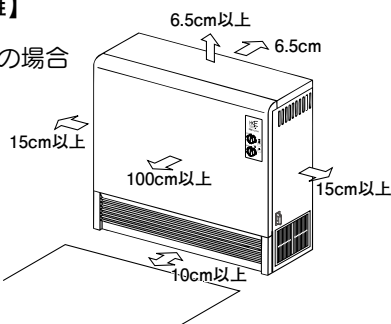
 暖房器の上に、腰をかけたり物を載せたりしないこと。 (やけど・故障の原因となります。)	 暖房器の中に硬貨などの金属や異物を入れないこと。 (感電や故障の原因になります。)	 本体と壁のすき間に物を入れないこと。 (火災ややけどの恐れがあります。)
 暖房運転中は、掃除機等の排気を吹出口や吸込口に向けたり、吸込口・吹出口を掃除機等で吸い込まないこと。(故障の原因となります。)	 電源ケーブルを引っ張ったり、折ったり、無理に曲げたりしないこと。電源ケーブルの上には絶対に重い物をのせないこと。(感電や火災の恐れがあります。)	 地震のときは決して暖房器の周囲に近づかないこと。 (ケガをする恐れがあります。)
 雨にさらしたり、水をこぼしたりしないこと。 (感電や故障の恐れがあります。)	 湿気の多い(水のかかる恐れのある)場所で使用しないこと。 (感電や故障の原因となります。)	 カーペット、ビニール系床材、雪の上等の不安定な場所には直接設置しないこと。 (転倒・故障・火災等の原因となりますので、必ず敷板、板置等の加工を施した後に設置してください。)
❶ 暖房運転中は換気扇等を連続運転したり、換気孔や窓を開け放しにしておくと熱が奪われ、蓄熱量が不足することがありますのでご注意ください。		
❷ 据付・配線工事は、必ずお買い上げ販売店または、専門業者(電気工事事)に依頼すること。		
❸ 長期間ご使用にならない場合は、必ずブレーカーを「OFF」にすること。		

離隔距離に関して

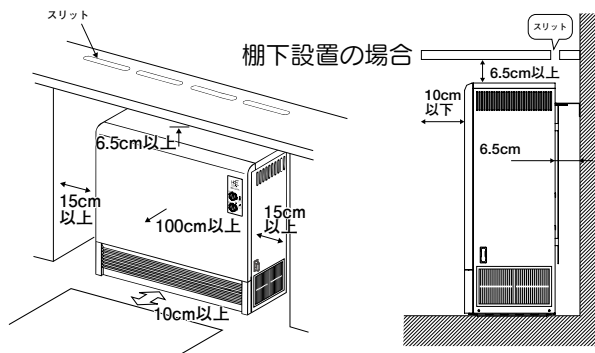
- ・カーテン等の可燃物・壁・家具・棚等に対して、以下の離隔距離が確保されていることをご確認ください。
- ・所定の離隔が確保されていない場合、安全装置やファン動作に支障を及ぼす可能性があります。また、メンテナンス時、作業スペース確保の為にも必ず所定の離隔距離を確保してください。
- ・離隔距離は暖房器が正常に作動するために必要な最低限の寸法です。周囲の仕上材等が変色・変形しないことを保証するものではありません。
- ・棚下設置の場合、上方6.5cm以上の離隔を取られても材質の状態などによって、棚板等が熱の影響を受け、変形・変色する恐れがあります。スリット加工等、熱がこもらないようにすることをお勧めします。

【離隔距離】

オープン設置の場合



棚下設置の場合



2 「暖吉くん」の仕組みと特長

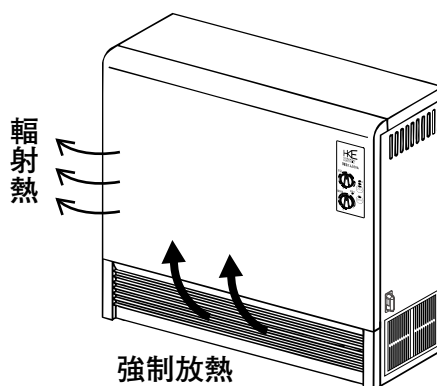
「暖吉くん・ELDシリーズ」は、電気料金の安い深夜電力の時間帯に蓄熱レンガに熱を蓄え、昼間必要に応じてこの熱を少しずつ取り出して効率よく暖房する「電気蓄熱暖房器」です。

電気蓄熱暖房器は、火を使わず室内の空気を汚さない、安全でクリーンな暖房器です。

深夜電力時間帯とは

8時間契約の場合、23：00～翌朝7：00までの8時間を言います。

※電力会社とのご契約によって異なる場合があります。



安全でクリーン

熱源は電気エネルギー。燃料補給が不要で、燃料漏れ等による火災の心配もありません。また、火を使わないので室内の空気を汚しません。



快適暖房

暖房器表面からの自然放熱（輻射熱）により、夜間や朝早く起きたとき、また外出から戻ったときも室温をある程度維持しているため、とても心地よい暖房感が得られます。また、必要に応じてファンの運転による温風（強制放熱）でお部屋を暖めることもできます。



簡単操作

前面の操作部に配置されたボタンやツマミで簡単操作。

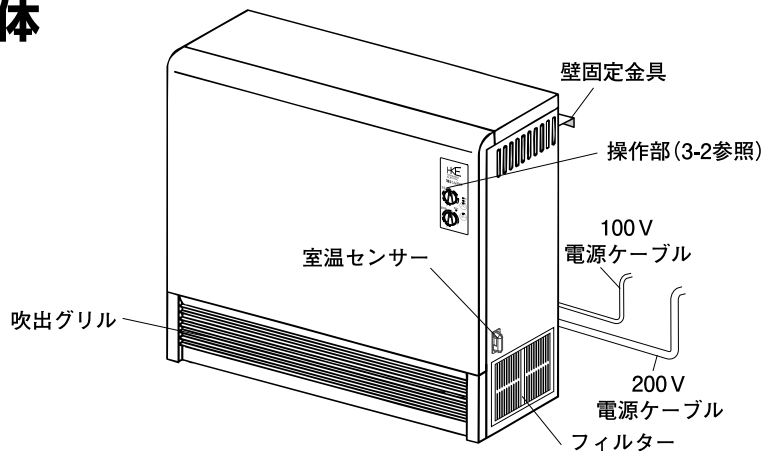


セーブモード

定格出力（単相200V）の2/3の電力で蓄熱するセーブモードを搭載。

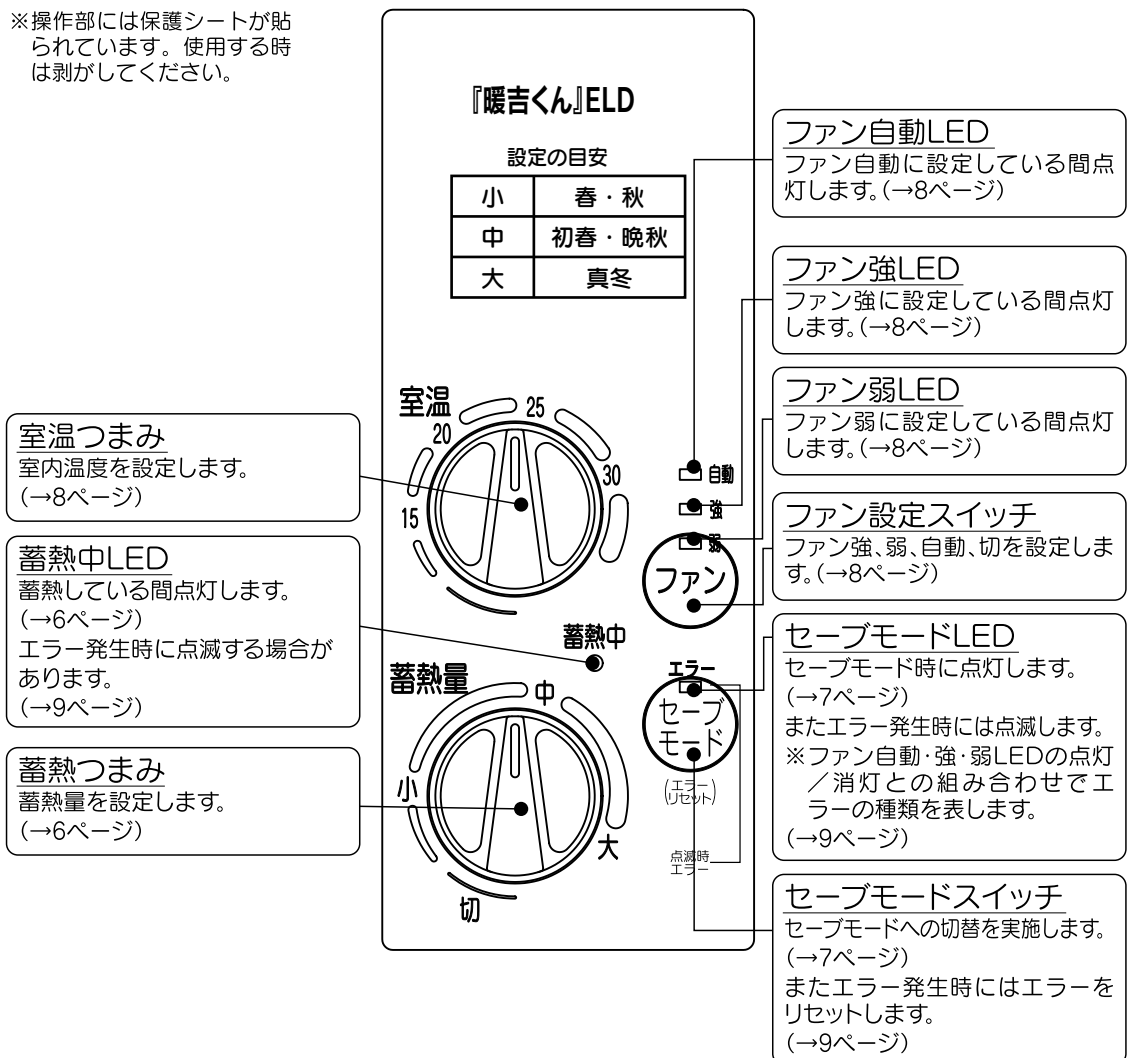
3 各部の名称

3-1 本体



3-2 操作部の名称と働き

※操作部には保護シートが貼られています。使用する時は剥がしてください。



4 基本的な使い方

4-1 暖房器を使い始めるとき

- (1) 100V電源（コンセントまたはブレーカー）を入れてください。
- (2) 200Vのブレーカーを「ON」にしてください。
- (3) 蓄熱量を設定してください（詳しい操作方法は6ページ5-1参照）

4-2 一般的な使い方

肌寒く感じ始める頃に使用を開始して、暖くなる頃まで蓄熱を切らずに使い続けるのが一般的です。室温設定は23℃くらいが標準です。お出かけの時や夜の就寝時間はファンを停止するのが一般的です。ファンを動かさなくても自然放熱による暖房は続いていますので、外出先から戻った時や朝起きた時も冷え切ることはありません。外出して誰も家にいない場合には、人の出入りもなく、密閉された温室のような状態になりますので、蓄熱量の減り方も少なくなります（お部屋の作りや暖房容量、蓄熱設定量によっては該当しない場合がございます）。

4-3 一週間程度留守にする場合

お出かけ前にファンのスイッチを切り、蓄熱量は切らずに設定しておきます。蓄熱は続いていますので帰宅後もお部屋が冷え切ることはありません。帰宅後は、必要に応じてファンを運転し、お部屋を暖房してください。蓄熱量を「切」にしてしまうと、留守中に内部温度も冷え切ってしまいますので、暖房に時間がかかります。室内を保温状態に保っておく方が経済的です。

4-4 暖房シーズンの終わりに

- (1) 操作部の室温つまみを最小の位置まで戻し、蓄熱つまみを「切」にし、ファン設定も「切」にしてください。
- (2) 200Vのブレーカーを「OFF」にしてください。
- (3) 100V電源の暖房器専用ブレーカーを設置されている場合はOFFに、コンセントご使用の場合は抜いてください。

※夏場に誤って蓄熱量が「小」以上になってしまうと、蓄熱を開始してしまいますので、暖房シーズンの終わりには上記操作を行ってください。

5 操作方法

5-1 日常的な使い方

(1) 蓄熱運転(蓄熱量の設定)

深夜の安い電力を利用して熱を蓄えます(23時～翌朝7時の間で蓄熱を行います)。

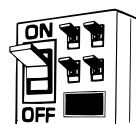
※ご契約内容によっては、時間帯が異なる場合もございます。

ご契約内容の詳細につきましては各電力会社へお問合せください。
蓄熱量を小～大の間で、季節に応じお好みの位置に設定します。

蓄 熱 量		
目盛	季節の目安	蓄熱の割合
大	真冬	100%
中	初春・晩秋	50%
小	春・秋	30%

(1)-1 200Vブレーカーの確認

200Vブレーカーが「ON」になっていることを確認してください。



各ご家庭の
分電盤ブレーカー

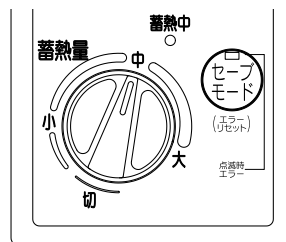
(1)-2 蓄熱量の設定～深夜電力時間帯前に～

【例】蓄熱量を50%に設定する場合。

蓄熱つまみを中に合わせます。

※蓄熱量はいつでも変更可能ですが、設定を上げても蓄熱が不足する場合がございますので深夜電力時間帯の前に変更することをおすすめします。

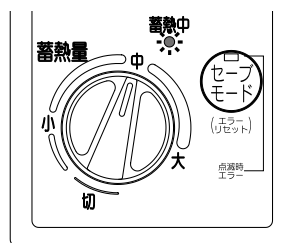
※蓄熱つまみを蓄熱量の高い方から低い方に回したときのみ、現在の蓄熱量の位置で“ピッ”と音がなります。



(1)-3 蓄熱開始

深夜電力時間帯になると…

⇒蓄熱を開始し、蓄熱中LEDが点灯します。

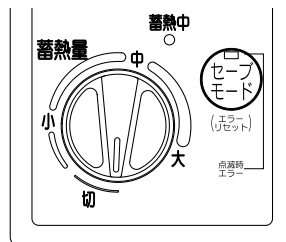


(1)-4 蓄熱の停止

蓄熱つまみを「切」の位置まで回してください。

⇒蓄熱中LEDが消灯します。

※長期間ご使用にならない場合は、誤って蓄熱される事がないよう、200Vブレーカーも「OFF」にしてください。



蓄熱される場合

蓄熱量の設定によっては、ご購入後初めて蓄熱された際に特有のにおいや水滴が出る場合がございますが、異常ではありません。

・においについて

においが気になる場合は、一度蓄熱量を「中」以上でご利用ください。においは数日で消えます。

※2シーズン目以降は、初蓄熱時のような特有のにおいは出ません。

・水滴について

初めから蓄熱量「大」で運転されますと内部から蒸発音が聞こえたりファン運転をすると水滴が落ちる場合がございます。これは湿気をレンガ・断熱材などが吸湿するために生じる現象であり、故障ではありません。

なおシーズン初めのご利用時には、蓄熱量を「小」に設定して、蓄熱しながらファンを「強」に設定して運転することをお勧めします。

(2)セーブモード運転

定格出力（単相200V）の2/3の電力で蓄熱を実施するモードです。

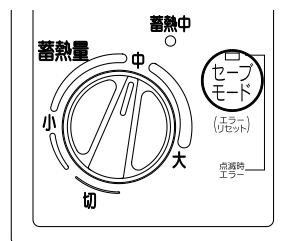
(2)-1 セーブモードの設定・解除

 スイッチを押すとLEDが点灯し、セーブモードでの運転となります。

セーブモードを解除する場合は、再度  スイッチを押して下さい。

LEDが消灯し、通常モードでの蓄熱が実施されます。

※セーブモード利用時は、ファン「弱」しか設定できません。



(2)-2 セーブモードでの蓄熱動作・設定

深夜蓄熱時間帯になると蓄熱を開始し、蓄熱中LEDが点灯します。

通常モードと同様に、蓄熱つまみで蓄熱量を設定します。

セーブモード運転について

定格出力（単相200V）の2/3の電力で蓄熱するため、蓄熱設定量まで蓄熱できない可能性があります。またファンは「弱」だけの運転となり、通常モードと比べ暖房器から熱を取り出し難くなります。

つまりセーブモード運転は、蓄熱量/放熱量の両方を抑える暖房器運転となり、この状態の暖房感でお使い頂ける場合、通常モードの運転に比べて、使用電力を抑制できる可能性があります。

またエアコンをお持ちのお客様は、エアコン暖房を併用しながら、セーブモード運転で蓄熱暖房器を動かすことで、一層効果的に使用電力を抑制できる可能性が高まります。

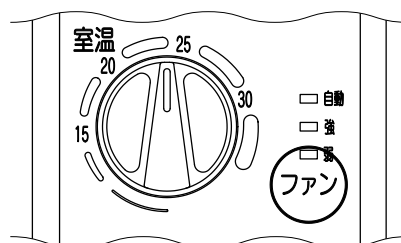
お客様の暖房環境に応じてご利用下さい。

(3) 暖房運転

室内温度を設定すると、ファンが運転し、蓄熱した熱を利用して暖房を行います。

暖房運転を行う場合は、ファンの設定を「弱」「強」「自動」のいずれかに設定してください。

※セーブモード利用時は、ファン「弱」しか設定できません。



(3)-1 室温の設定

室温つまみをお好みの位置まで回してください。

※設定範囲は、10℃～35℃です。

(3)-2 ファンの設定

ファンの設定は「切」「弱」「強」「自動」とあります。スイッチを押すごとに、ファンLEDの点灯が「弱」→「強」→「自動」→「切」（ファンLED消灯）と切り替わりますので、お好みに設定してください。

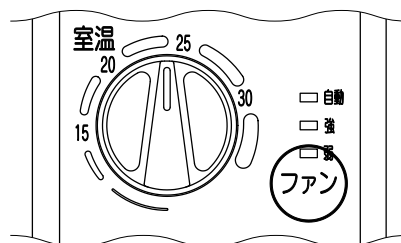
※ファン設定を「自動」にすると、室内温度と設定温度差に応じて「弱」運転と「強」運転を自動的に切り替えて運転してくれます。

【例1】ファン「強」運転をしたい場合

ファン「切」の状態から、スイッチを2回押す

⇒ファン強LEDが点灯し、設定温度になるようにファンが自動運転します。

※室内温度が設定温度以上のときは、ファンLEDが点灯していても、ファンは運転しません。



(3)-3 暖房運転の停止

ファン「切」の状態になるまで、スイッチを押します。

⇒ファンLEDが消灯します。



必要以上に設定温度を上げると、蓄熱量が不足する場合がございます。

室温センサーが外れていたり、暖房器右側面に適切な離隔距離（2ページ参照）が保たれていないと、室温センサーが正しい室温を感知せず、ファンが運転されない場合がありますのでご注意ください。

深夜電力時間帯にファン運転を行うと、蓄熱しながら放熱することになり、設定量まで蓄熱されない場合がございます。就寝前にファン設定を「切」にするか、昼間よりも室温を低めに設定していただくことをお勧めします。

5-2 蓄熱・暖房運転の停止

長期間お使いにならない時や暖房シーズンの終わりには、4-4. 暖房シーズンの終わりにの手順で停止操作を行ってください。

6 エラー表示が出たら

暖房器に異常が発生した場合、操作部のセーブモードLEDが点滅し、エラー内容によって下表の組み合わせで表示されます。エラーが発生した場合、自動的に蓄熱と暖房運転を停止します（ただしn07とn08エラーの場合、ファン運転はエラー発生前の状態を継続します）。

〔エラーコード表〕

エラーコード各	エラー内容/動作内容	エラー表示組合せ					備 考
		セーブモードLED	蓄熱中LED *1	ファン弱LED *2	ファン強LED *2	ファン自動LED *2	
n00	室内温度異常(50℃以上) または室温センサー異常(短絡)	点滅	消灯	点灯	点灯	点灯	右側面(特に室温センサー)周辺に障害物があれば取り除き、下記の方法でリセットして下さい。
n01	蓄熱体温度異常(過蓄熱) または蓄熱センサー異常(短絡)	点滅	消灯	点灯	点灯	消灯	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
n02	室温センサー断線(-20℃以下)	点滅	消灯	点灯	消灯	点灯	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
n03	蓄熱レンガ温度異常 (蓄熱センサー断線含む)	点滅	消灯	点灯	消灯	消灯	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
n05	基板内部メモリー異常	点滅	消灯	消灯	点灯	点灯	下記の方法でエラーをリセットして下さい。
n06	転倒時電源遮断スイッチ検知	点滅	消灯	消灯	点灯	消灯	地震等によって暖房器が傾き、電源遮断された場合にn06エラーを発生します。暖房器を元の状態に戻し、エラーをリセットして下さい。
n07	ヒーター断線異常	点滅	点滅	消灯 *3	消灯 *3	点灯 *3	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
n08	手動復帰型蓄熱温度過昇防止器動作	点滅	点滅	消灯	消灯	消灯	お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

*1 「蓄熱中LED」消灯と点滅のエラーが同時発生した多重エラーの場合、「蓄熱中LED」は点滅表示します。

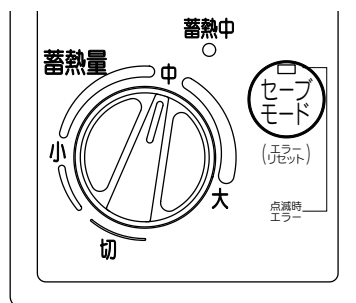
*2 多重エラーにおいての「ファン弱LED」「ファン強LED」「ファン自動LED」の該当エラー表示は、1秒インターバルの繰り返しで、多重エラーを表示します。（たとえばn00とn01エラー同時発生の場合、n00とn01エラー表示組み合わせが1秒ごとに交互に表示されます）

*3 n07エラー発生時でもファンの運転は弱、強、自動とも有効です。したがって、ファン設定いずれかで運転中にn07エラーが発生した場合、「ファン自動LED」点灯の他に運転中のファンLEDを点灯させます（例えば「ファン強」運転中であれば「ファン強LED」と「ファン自動LED」が点灯し、「ファン自動」運転中であれば「ファン自動LED」は点灯したままとなります）。

エラーリセット方法

エラーの原因となった異常状態が正常に戻っている場合、次の操作でエラーリセットとなります。

- ① セーブモードスイッチを3秒以上長押しします。
⇒エラーが解除されます。



△注意

正常な状態に戻っていない場合、表示が消えても再表示される場合があります。エラーコードをお控えの上、お買い上げの販売店もしくは当社までご連絡ください。

7 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

また、下記の症状以外でも、ご使用中に異常が感じられた場合は、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

症 状	調べるところ	対処方法	関連ページ
A. 暖房器が温まらない	ブレーカーが「OFF」になっていませんか？	100V・200Vのブレーカーを「ON」にしてください。	6ページ
	深夜にファンを回していませんか？	蓄熱量が不足する可能性があるため深夜（蓄熱中）はファンを「切」にしておくことをおすすめします。	－
	蓄熱つまみが「切」または低い設定になっていませんか？	お好みの蓄熱量に設定してください。	6ページ
	セーブモードが設定されていませんか？	セーブモードを解除して下さい。	7ページ
B. 温風が出ない	まず、Aの項目をご確認ください。		
	室温つまみが低い設定になっていませんか？	お好みの室温に設定してください。	8ページ
	ファンスイッチが「切」になっていませんか？	ファンスイッチを「弱」「強」または「自動」に設定してください。	8ページ
	蓄熱は十分にされていますか？	蓄熱量の設定を確認してください。	6ページ
	吹出口がふさがれていませんか？	障害物を取り除いてください。	1ページ
	必要な離隔が確保されていますか？	適切な離隔を確保してください。特に右側面に適切な離隔が確保されていないと室温センサーが正しい室温を検知せずファンが運転しない場合があります。	1ページ 2ページ
	セーブモードが設定されていませんか？	セーブモードを解除して下さい。（セーブモード設定時はファン弱しか設定できません。）	7ページ
C. お部屋が暖まらない	まず、A・Bの項目をご確認ください。		
	ドアや窓が開いていませんか？	ドアや窓を閉めてください。	－
D. わずかに、においや煙が出る	初めてお使いになる場合や長期間ご使用になっていなかった場合は、埃や湿気でおいが出る場合があります。このような時は、お部屋を十分に換気したうえでご使用ください。		－
E. 不規則な音が出る	ビスとパネル、ヒーター等金属間の熱膨張が異なるため、運転時に音が発生する場合がありますが、異常ではありません。		－
F. エラー表示が出る	エラーコード表をご参照ください。		9ページ

8 その他

8-1 お手入れ

本体を末永くお使いいただくためにも、お手入れを行ってください。

お手入れに関する注意

本体表面の掃除は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。
(本体表面の塗装を傷めるおそれがあります)

本体表面や周辺の掃除の際は、必ず200Vブレーカーを「OFF」にし、本体が冷めてから行ってください。(感電、やけどのおそれがあります)

本体内部の掃除は、必ずお買い上げの販売店または当社までご相談ください。
(やけど、感電、ケガのおそれがあります)

本体表面の汚れ

通常は乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き取ってください。

※本体に向けて、洗剤等を直接スプレーしないでください。

本体や周辺のほこり

前面吹出グリル及び右側面のフィルター(※)に付着した埃を掃除機で吸い取ってください。

壁と本体背面部との間の埃を掃除機で吸い取ってください。

※フィルターは本体右側面についていますので、取り外して掃除機でこまめに埃やゴミを取り除いてください。(埃やゴミがたまった状態で運転を行うと、暖房能力の低下や故障の原因となる場合があります。)

8-2 定期点検について

末永く安心してお使いいただくために、3シーズンに1回程度、お買い上げの販売店または当社に点検依頼されることをおすすめいたします(有料)。

8-3 アフターサービスについて

- ① この商品の保証書は、13ページに添付しております。
保証書は必ず「お買い上げ年月日」と販売店名等、所定事項をご確認の上、大切に保管してください。
- ② 保証期間中に修理を依頼される時は、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
保証書の内容に従って修理いたします。
保証期間の延長をご希望のお客様は、同封のハガキを使って郵送または「暖吉くん」ホームページ(URL <http://dankichi-kun.com/>)にてお申し込みください。
- ③ 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または当社までご相談ください。有償修理いたします。なお、交換用部品は、本製品の生産終了後も、10年間は供給いたします。
- ④ 本体に異常のある場合、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対におやめください。大変危険です。
- ⑤ 修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

【お問い合わせの際に、ご連絡いただきたい内容】

品 名	電気蓄熱暖房器「暖吉くん」
製 品 の 型 番	ELD-0000
お買い上げ年月日	0000年0月0日
故 障 な の 状 況	どんな症状が出ているのかできるだけ具体的に。
お 客 様	お名前、ご住所、ご連絡先の電話番号
修 理 希 望 日	0000年0月0日

8-4 地震があった場合

大きな地震の後、暖房器を再使用するためには、断熱材など内部部材の点検が必要です。お買い上げの販売店または当社までご相談ください。

9 標準仕様

【ELDシリーズ】

製品の型番	[8時間蓄熱型]		ELD-2000	ELD-3000	ELD-4000	ELD-5000	ELD-6000	ELD-7000	
定格容量(単相200V)			W	2000	3000	4000	5000	6000	7000
定格容量(単相100V※1)			W	23	23	40	40	40	40
蓄熱	蓄熱効率※2		%	89.0	90.0	91.0	92.0	92.0	92.0
	有効蓄熱量※3		MJ	52.5	79.2	106.3	130.5	158.1	184.0
	蓄熱設定		切、小から大無段階設定						
	その他設定		セーブモード選択時は定格容量(単相200V)の2/3の電力で蓄熱を実施						
蓄熱レンガ	数量	個	12	18	24	30	36	42	
	材質		酸化鉄						
放熱	放熱方式		ファン強制放熱型						
	ファン設定		切・弱・強・自動運転※4段階切り替え(セーブモード利用時は切・弱の2段階切替)						
室内温度設定			10～35℃無段階設定						
本体	横幅	mm	556	719	881	1,044	1,207	1,370	
	高さ	mm	645						
	奥行き(壁固定金具含む)	mm	255(320)						
重量	本体重量	kg	29	36	43	50	57	64	
	蓄熱レンガ重量	kg	86	128	172	215	258	301	
	総重量	kg	115	164	215	265	315	365	
電源ケーブル サイズ	200V	SQ	3.5			5.5		8.0	
	100V	SQ	0.75						
	本体から出る長さ		m	200V・100Vともに約1.0m					
断熱材			シリカ・アルミナ系断熱材						
安全装置	蓄熱		自動復帰型温度過昇防止器・手動復帰型温度過昇防止器						
	放熱		自動復帰型吹出温度過昇防止器						
	蓄熱・放熱		転倒時電源遮断スイッチ(OFF:手前に25°以上傾斜)、100V電流ヒューズ(5A)						
本体カラー			ホワイト系						
機能	通電ランプ		ヒーターが通電している時にLEDが点灯する						
対応電源			単相200V						

※1：単相100Vの表示にはマイコン基板の消費電力3Wを含みます。

※2：8時間蓄熱時

※3：有効蓄熱量＝定格容量(kW)×通電時間×蓄熱効率×3.6(1kWh=3.6MJ) 1MJ=239kcal
蓄熱量は試験値です。ヒーター容量の誤差により多少異なる場合があります。

※4：自動運転(設定温度と室温との差によってファン「切」「弱」「強」運転が自動的に切り替わります。
(設定温度<室温=ファン「切」、設定温度>室温(温度差3℃以下)=ファン「弱」運転、設定温度>室温(温度差3℃以上)=ファン「強」運転)

当社標準仕様の製品は、一般財団法人ベターリビング(BL)の「優良住宅部品」の認定を受けており、BLシールが貼付されています。

優良住宅部品には、住宅部品及び施工の瑕疵に係る担保責任保険及びこれらの瑕疵に起因する損害に係る賠償責任保険が付されています。

当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙が貼付されている部品については、BLのBL保険制度により、保険金が支給されます。

優良住宅部品は、設置する場所(適用範囲)を設定して認定基準等が規定されています。そのため、優良住宅部品を適用範囲外(P-1~P-2を参照ください)で使用される場合は、優良な部品としての性能等が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品とはなりませんので、ご注意ください。

なお、当社の特殊仕様の製品にはBLの認定を受けていないものもありますのでご注意ください。

BL保険制度の詳細についてはBLのホームページ(<http://www.blhp.org/>)を、当住宅部品の施工要領の詳細については当製品の取扱説明書・据付説明書を御覧ください。

保証書

品名	電気蓄熱暖房機
型番	ELD-2000 ELD-3000 ELD-4000 ELD-5000 ELD-6000 ELD-7000
お客様	お名前 ご住所 (〒 -) 電話番号 () -
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日から蓄熱用ヒーター3年間、蓄熱レンガ5年間、その他の電気部品・他の機能部品2年間
販売店	販売店名 住 所 電話番号 () -

本書は、お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、下記〈無料修理規定〉に基づき無料修理を行うこととお約束するものです。

詳細は、下記〈無料修理規定〉をご参照ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または当社にお申しつけください。

(ロ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2. ヒーターや基盤などの電気部品は消耗品です。故障した場合はお買い上げの販売店または当社にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) 施工説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生ずる故障及び損傷

(ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷

(ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)等による故障及び損傷

(ホ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

(ヘ) 本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

(ト) 離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7. 販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。

8. 万一当社または設置工事施工者が倒産している場合、当社等による瑕疵保証責任等に代わる措置が財団法人ベターリビングから受けられます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または販売元にお問い合わせください。

※補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

※This warranty is valid only in Japan.

